

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページも見て下さい。www.tomichokyo.or.jp/yo.or.jp
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布しています。

全国聴覚障害者情報提供施設協議会

2026年度総会・第22回（通算第34回）施設大会 梅雨明けの沖縄で開催！



全国聴覚障害者情報提供施設協議会（以下、全聴情協）総会・施設大会が6月18日～19日に沖縄県総合福祉センターにて開催。51施設より69名が参加しました。

18日の施設長研修では、情報提供施設職員の給与と勤務環境について今春に行われたアンケート調査の結果が報告されました。この調査の目的は、職員のおかれている環境を把握し、制度の問題点を明確にすることです。

調査研究委員長の太田さんは、「職員の給与の格差が大きい。また委託費に人事院勧告・物価上昇分が反映されないなど必要な人件費が確保されていない。専門性の高い業務にも関わらず、処遇面の課題により人材確保が困難。多くの施設は自主財源ゼロ。自主事業で財源を確保していく経営力が今後必要になる」と報告されました。以上の調査データを基に今夏、厚生労働省と話し合う予定となっているとのこと。

施設長研修を終了すると直ちに総会が開催されました。1時間と短い時間でしたが、議案は全て承認されました。最後に「監査方法がようやくわかり、これからなのに残念。次の監事に引き継ぎたい」と中橋監事が退任のあいさつをしました。新監事は徳島的美吉克春さんです。



監事退任の挨拶をする中橋

その日の夜の懇親会は、国際通りのホテルに移動して、開催。沖縄の味・酒に舌鼓を打ちました。



厚生労働省の
馬場室長補佐の講演

翌日の19日は、施設大会が行われ、厚生労働省の馬場室長補佐が「全聴情協の役割・将来ビジョンと全聴情協に期待すること」と昨年と同じテーマで講演。続いて全聴情協理事長の中西さんより「中央センター構想にかかる意見交換会」の報告があり、中央センターができることと54施設への支援、施設職員の育成、調査・研究機能を入れられる、国及び都道府県への働きかけができる、などのメリットを話され、すぐに実現するのは難しいが全日本ろうあ連盟との話し合いを進めたいと話されました。

久しぶりの沖縄でしたが、梅雨明けとなり、高温・高湿度の沖縄特有の気候に悩まされました。熱中症を防ぐために移動はタクシーでと勧められるほどでした。しかし頑張ってモノレール、徒歩で移動しました。

（文責・中橋）

センター利用の実績

5月21日～6月20日

- 来所者合計約 478名
聴障者約222名、健聴者約256名
- コミュニケーション支援 114件
- ライブラリー貸出 0件
- 相談対応 2件
- 部屋貸出 23件

★センター運営募金・募集郵便振替口座；

00790 - 0 - 93002

名称；富山県聴覚障害者
センターを支える会
よろしくお願いします。